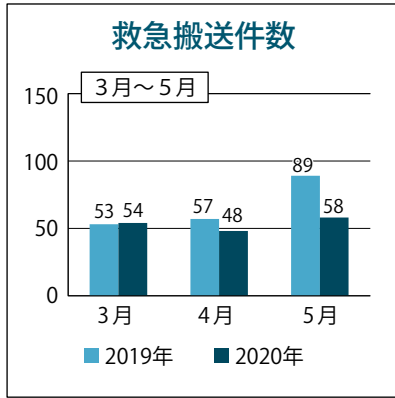


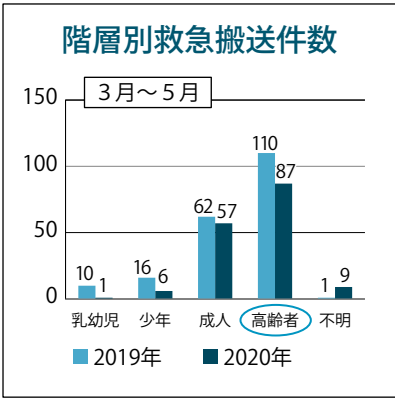


注意が必要なけがや犯罪(直近データより)

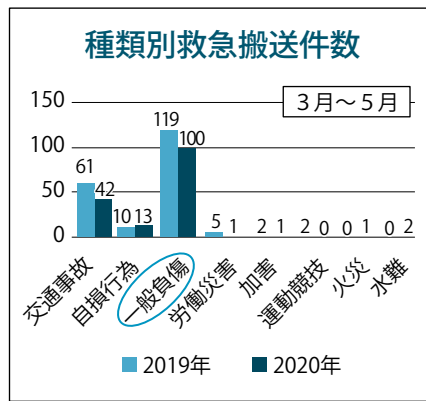
注意が必要なけがを分析するため、新型コロナウイルス感染症により外出の自粛を始めた3月からの救急搬送データを使用し、昨年との比較を行いました。最初に、救急搬送件数を見ると、減少傾向にあります。



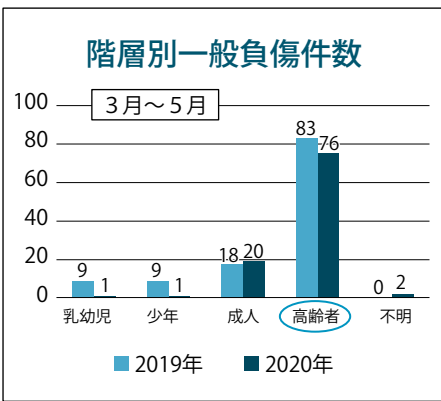
階層別に見ると、高齢者の救急搬送件数が多く、全体の半分以上を占めています。



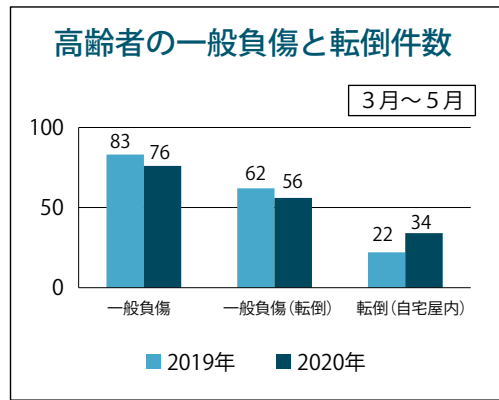
また、種類別に見ると、「一般負傷」が最も多く、全体の約6割を占めています。次いで、「交通事故」、「自損行為」の順となり、自損行為は、昨年より若干増加しています。



種類別で最も多い一般負傷をさらに階層別で見ると、高齢者の一般負傷が多くなっています。



高齢者の一般負傷は、転倒が全体の7割以上を占め、昨年より自宅での転倒が増加しています。

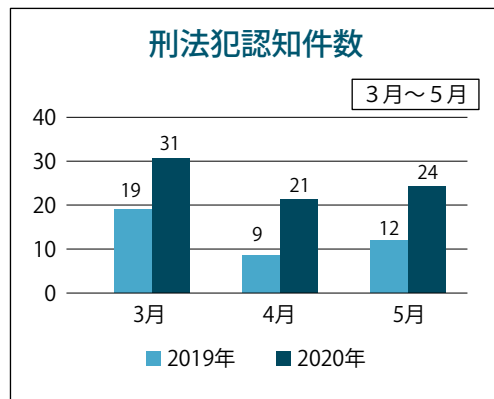


こうしたことから、救急搬送データによる「注意が必要なけが」は、高齢者の転倒によるもので、特に**自宅内でのけがへの注意が必要**です。

そのため、セーフコミュニティでは、転倒予防に効果があり、自宅で無理なく行える「**ちちぶお茶のみ体操(通称・茶トレ)**」の実践を呼びかけています。また、自宅内の新聞やコードを片付けたり束ねたりするだけで、**けがを予防**することもできますので、**普段から心掛けをお願いします。**

次に、**自損行為**については、昨年より若干増加していて、**注意が必要**です。「普段と様子が違う」「橋から飛び降りそうな人がある」など、**家族や地域住**

民の自殺のサインに気付いたら、お声掛けをお願いします。最後に、**刑法犯罪認知件数**を見ると、増加傾向にあります。



種類別に見ると、身近な犯罪として、「**自転車盗・車上狙い・部品狙い**」が増加しています。

そのため、**自宅や自転車には必ず鍵をかける**、**部品は出しっぱなしにしない**、**車の中に貴重品を置かない**など、**注意**をお願いします。また、**新型コロナウイルス感染症に関連した特殊詐欺(市報6月号9ページに掲載)**にも**ご注意ください**。

セーフコミュニティでは、各種データを分析し、市民の皆さんへ**注意喚起**を行っています。今後も、皆さんの協力をいただきながら、「**安全・安心なまち**」を目指します。

問 危機管理課 ☎ 22-2206

